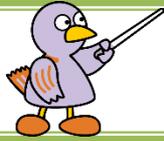


家畜衛生だより



防疫対策の再確認・再徹底をお願いします！

今年5月に韓国で口蹄疫の発生が確認されるなど、家畜伝染病のリスクが高まっています。下記の防疫対策について、従業員へ周知していただき、再確認・再徹底をお願いします。

○ 車両消毒の徹底、交差汚染の防止

特にと畜場、化製場、家畜市場など畜産施設に出入りした際は、消毒を徹底

○ 畜舎専用衣服・靴の着用

○ 農場・畜舎へ入る際の手指の消毒

○ 畜舎・器具のこまめな清掃、消毒

○ 野生動物との接触・侵入防止対策の徹底

ネズミ、昆虫の駆除、牛舎外壁の補修、防鳥ネットの設置等を徹底

○ 毎日の健康観察と早期発見及び異常時の早期通報

○ 口蹄疫等の発生地域、非清浄地域への不要不急の渡航自粛

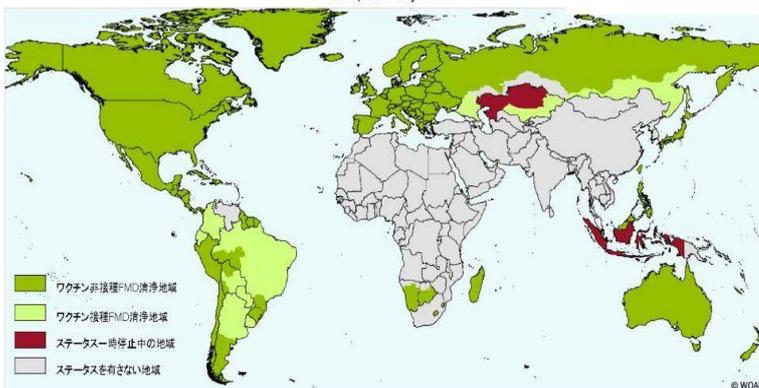
○ 外国人技能実習生等の外国人従業員を受け入れている場合は、日本への持込みが禁止されている肉製品等が母国を含む海外からの携帯品、国際郵便物等によって持ち込まれることのないよう、当該従業員等への周知徹底



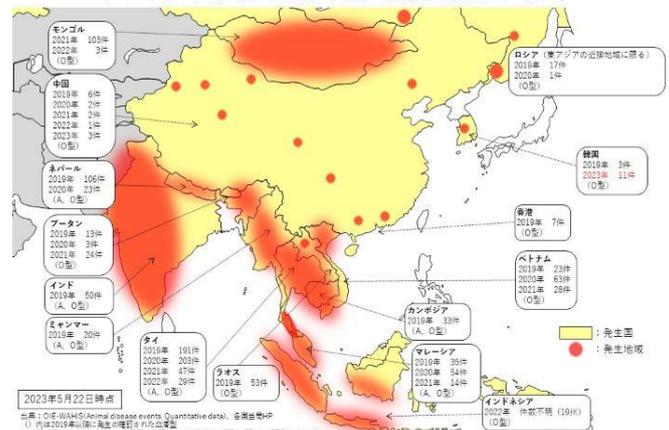
口蹄疫(FMD)のOIEステータス認定状況

Last update May 2023

2023年6月13日時点



アジアにおける口蹄疫の発生状況（2019年以降）



出典：農水 HP

裏面もご覧ください

配合飼料タンクの安全性についてご確認ください！



配合飼料タンクに飼料を補充する際、タンクの支柱の腐食などにより、飼料輸送に従事されている方に危険が生じる可能性があります。以下の点に注意して、飼料タンクの安全な使用・管理をお願いします。

➤ 既存の配合飼料タンクの安全点検について

すでに設置されている配合飼料タンクについて以下の点検を行いましょう。問題がある場合には、飼料メーカー等に連絡し、協議を行い対処しましょう。

- ✓ 配合飼料タンクを支える支柱やはしごなどに腐食や不具合はありませんか？
- ✓ 配合飼料タンクが傾いていませんか？
- ✓ 配合飼料タンク周辺の除草など周辺環境の整備を行い、はしごの昇降がスムーズに行えるようにしましょう。



➤ 新たに設置・更新する配合飼料タンクについて

高所作業の負担を軽減するため、今後設置・更新等を行う予定のある配合飼料タンクについて、以下のことをご検討ください。

- ✓ 高さ2m以上で作業を行い、墜落の可能性が想定される場合は飼料タンクに背かご付のはしご等を導入する。
- ✓ 飼料タンクのはしごを上らずに蓋の開閉ができる紐を付ける。
- ✓ はしごに上らずにタンク内の飼料残量を確認できるセンサー等の技術を活用する。



➤ 地域の飼料輸送体制の維持について

配合飼料輸送は高所作業・専門技術を要するため、今後、ドライバー確保が難しくなる懸念があります。今後も輸送体制を維持するために、以下についてご協力をお願いいたします。

- ✓ 飼料メーカー、輸送業者等が効率的な飼料の製造計画や発送スケジュールを組めるよう、タンク内の飼料の残量の適切な把握や余裕を持った発注を行う。
- ✓ 飼料タンク内の飼料の残量確認など、付帯作業を輸送業者に依頼する場合、業務に応じた料金を支払う。
- ✓ まとまった量で注文するなど、輸送回数の低減に協力する。



お問い合わせは畜産支援・安全対策担当まで

埼玉県中央家畜保健衛生所（さいたま市北区别所町 107-1）

TEL:048-663-3071

（24時間、土日祝日も受付）